

農業技術 プリズム

県農林技術開発センターは、集落営農での営農計画づくりに適した試算ツールを作成したのでご紹介します。

試算作業は次の①～④を行います。

- ① あらかじめ用意している経営指標データ（収入・支出や労働時間など）から同じ品目のデータを呼び出し②生産規模を入力
 - ③ 収入・支出や労働の数値（単価、販売量、交付金、各費用、旬別労働時間など）を現実の値に変更（①～③は品目の数だけ繰り返し）④農業用施設・機械の情報を入力。
- 試算結果表では収支と旬別労働時間に加え、集落営農に重要な次の二つも示します。
- 集落内の大勢の人々に支払

う労賃や地代を農業所得に加えて「集落所得」（集落全体のもの）として示します。

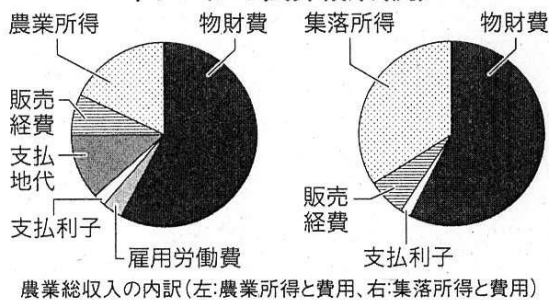
② 数人の専従者（播種ⅡはしゅⅡ・定植や収穫作業などを担

集落営農向け試算ツール

より良い計画づくり 試算と議論を重ねて

当）と、大勢の労働提供者（草刈りや水管理などを担当）の報酬は、一方を高くするともう一方は安くなり不公平感が生じやすいところです。

本ツールの試算結果(例)



そこで、両者の報酬（1時間当たり）を何段階かに変化させたときの利益額をシミュレーションして示します。

本ツールを用いて集落内の多くの方で議論しながら試算を繰り返すことで、より良い営農計画づくりが可能となります。興味を持たれた人は県の各振興局に問い合わせてください。

（長崎県農林技術開発センター 研究企画部門 研究企画室 専門 研究員 土井謙児）